

## 令和4年8月期月次景況調査結果

この調査結果は、地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

第7波となるコロナの急激な拡大により、卸・小売業やサービス業、商店街を中心に売上が減少するとともに、多くの業種において、原材料費等の値上げが続き、価格転嫁が追い付かないあるいは困難としており、企業収益を圧迫している。

また、一般・輸送機器製造業や建設業等の一部には、受注量は確保できている企業はあるものの、多くの業種において、コロナ感染拡大が従業員の人手不足に拍車をかけており、事業活動に影響を及ぼしている。

こうしたことから、8月期の景況DI値は横這いから悪化に転じており、今後も、原材料費の高騰や電気料金の引上げは続くと思われることから、先行きを不安視する声が多く寄せられている。

### 山口県の主要指標 DI 値（令和4年8月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、好転：3.8% 悪化：42.5% DI値：▲38.7% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、増加：16.3% 減少：33.8% DI値：▲17.5% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、好転：5.0% 悪化：40.0% DI値：▲35.0% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値（業界の景況）（令和4年8月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲75.0	▲50.0	▲66.7	▲50.0	▲33.3	0.0	0.0	▲37.5
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製 造 業
▲40.0	▲37.5	▲40.0	▲45.4	▲36.4	▲28.6	▲100.0	▲39.6
							

全 体
▲38.7


## 特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	原材料の値上げが続き、大変厳しい状況。	調味料製造業
	9月1日より山口県を代表する銘菓が値上げの予定。従業員のコロナウイルス感染による就業不能によって組合員である店主への負担が一段と重くなっている。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	売上は上昇したが、引き続き、原材料や燃料費の価格上昇が続いており、収益の好転が難しい。	パン・菓子製造業 下関市
	コロナウイルス感染者が長門市にも増えている。団体観光客が大幅に減少、土産物商品の売上減少が続いている。漁獲量が減少し、漁師も激減。また、加工業の人手不足が深刻である。	水産食料品製造業 長門市
	コロナ禍の業況は、組合員の業種によって変わらない組合員、季節的に厳しい組合員に分かれている。入国制限で外国人技能実習生の人数が減って、生産量を減らす必要があり、売上が減少する等の影響がある。コロナウイルス感染者は増えているが、市場の動きは止まっていないので、売上に関しては回復していると思われるが、円安や原材料・資材の高騰で利益的には厳しくなっている。	水産食料品製造業 下関市
	「異常気象」と言われるほどの猛暑酷暑では、人が動かない、モノが動かない、お金が動かない。それでも、脱コロナを目指した秋口のイベントが動き始めているので、これに期待したい。	食料品製造業
	8月はコロナウイルス感染再拡大の中であったが、飲食店などもほぼ通常営業となり、売上の減少は軽微なものとなった。原油価格の大幅な上昇とウクライナ情勢による原料不足等による各種コストの増加により、製造原価が上昇し、事業活動がさらに苦しい状況となっている。ロシアがウクライナに侵攻し、6ヶ月が経過したが、全く終息する気配も無く、原油、天然ガス等の資源不足が懸念されている。また、ウクライナは世界有数の穀倉地帯でもあるので、食料不足に伴う穀物価格が上昇している。	精穀・製粉業
繊維工業	現地へ行けず、オンラインで外国人技能実習生の面接を行っている状況。	下着類製造業
	秋ものの衣類の受注量は安定しており、生産も順調であった。原材料高騰の転嫁については、消費者の理解が必要であり、現在はタイミングを計っている状況。	外衣・シャツ製造業

木材・木製品	毎日の酷暑、建築・木材業界全体の低迷により地域の工務店は皆四苦八苦の状況。ウクライナ紛争でロシア材が入荷困難となり、赤松材が不足。関連商品の高騰・品薄と原油高や円安による便乗値上げと思われるものもあり、いい思いをしているのは、為替レートが関係する大手企業だけに思える。建築業者の方とお話してみると、『土地でも持っていれば新築もあるが、リフォーム工事が少々ある程度。』とのこと。組合の活動は皆無である。	製材業・木製品製造業 岩国市
	当組合のコロナウイルスによる影響が出始めた時期は令和2年4月以降である。組合員の平均売上額は、コロナ前の令和元年8月に比べ20%の減少、コロナ禍の令和3年8月と比べ10%の減少だが、増加傾向の事業所と依然減少が続く事業所とが混在している状況。国産材需要も減少傾向。ウッドショックによる高騰価格時に仕入れた在庫について、価格が下落した場合の価格転嫁が難しい。電気代について新電力の販売価格は最終保障額に近い価格提示のため経費増大が痛手である。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	8月は大口受注があり、設備操業度も上がり売上也増加した。	印刷業 山口市
	今年の夏は全国的に数年間中止となっていたイベント等が開催されるなど、行動制限のないウィズコロナの考え方が社会的に浸透してきた感がある。また、デジタル技術を利用した働き方も、従来とは大きく様変わりしてきている。印刷業界においても、各県工組の中核組織である全日本印刷工業組合連合会主導によるDXの推進が積極的に行われており、関連ベンダーと共同投資による受発注システムや経営指標の把握と合理化、効率化に繋がるシステム等の構築を行っている。ただ、どんなシステムでも活用されなければ意味がなく、今後は啓蒙活動を活発に行い、会員企業がこのシステムを理解し変革のヒントにできるか、利活用できるかがポイントとなる。	印刷業 下関市
窯業・土石製品	2022年1月に値上げを実施したが、市場調査で山口県は6月より広島県は7月より調査会の単価が値上げされた。毎月のように何かが値上げされている状況で、販売価格の転嫁が必須な状況になっている。	コンクリート製品製造業 防府市
	重油、鋼材値の高騰により利益が圧迫している現状が続いている。コロナウイルスの影響により顧客への訪問が出来ないため、値上げの説明不足となっている。	コンクリート製品製造業 柳井市

	出荷量は、前月比 91%、前年同月比 91%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は県内で上昇傾向である。	生コンクリート製造業
	昨今の支払い方法の多様化に戸惑う部分がある。スマホでの決済が出来ず何度もやり取りをした事があった。各自対応できるスキルを持ちながら、万が一決済が出来ない場合は、昔ながらの銀行振り込みや現金書留等による対応も必要になってくる。	石工品製造業
	8月の売上高は、小売で前年比 50%増加。卸売も前年比で 40%増加となった。コロナ禍ではじめての移動制限の無い夏休み・お盆休みとなり観光客が増加。また、「旅々やまぐち割」や「萩市の観光クーポン」の効果も大きい。一部の商品で、原材料費・燃料費の上昇に伴い、取引価格の上昇が見られる。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	8月は周南地区コンビナートの大きな建設工事、大型定期補修工事もなく、例年通り閑散期となった。各企業とも、県外案件の対応、小口工事案件の対応をしながら、なんとかしのいでいた模様。コロナウイルス感染者が増えたことで、濃厚接触者も増え、人員の調整に苦労している。	一般機械器具製造業 下松市
	令和5年4月～7月までの仕事量はほぼ満杯、顧客からの発注も早く、今後の仕事も予告があり、働き方改革に則って対応を検討中である。仕入価格の高騰が経営状況に大きく影響している。材料費や購入品、消耗品、電気料金などの値上がりが続いている。購入品も長納期や納期未定品が多く、価格より品物の確保を優先するため収益に影響を及ぼす。人手不足で設備投資を控える事業所も出てきており、先の見通しが難しい。	一般機械器具製造業 防府市
	新型コロナウイルスについては経済との共存政策の進展により回復基調にある。しかしながら、円安、ロシアのウクライナ侵攻に伴う資源高、資源不足が徐々に経済に影響を及ぼしてきている。人材確保の面では、各国とも事務が輻輳し手続きが遅れており、新規の外国人技能実習生の受入れが2～3ヶ月遅れている。また、最低賃金のアップがあるものの、円安の影響は大きく、欧米、アメリカ、カナダ、韓国との人材確保競争は厳しい。国内でも都会の高賃金に対抗できず、募集しても人が集まりにくい状況である。さらに、企業にとっては航空便のアップが大きな負担となっている。	一般機械器具製造業 宇部市
	7月と同様に、収益が上がらない上に、従業員が感染し人手不足が深刻になっている企業も見受けら	

	れる。	
輸送機器	鉄道車両関係の現状は順調に推移している。外国からの受注は2年間確保されているが、国内受注は、一部の部品製造において減少傾向である。2～3年後の鉄道車両関係の受注は、かなりの減少の見通し。半導体は、例年の2～3倍の受注量で引き続き好調。工場新設により操業率のアップを見込んでいる事業所も2～3社あり、1社は7月から新工場で操業開始。2～3年は順調に推移の見通し。原材料や燃料費の高騰が相次いでおり、価格転嫁は、すぐには難しい状況である。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	倉庫売上は前年同月比ほぼ同等であるが、コロナ前よりはやや減少している。2業者の（肉・いりこ）の大きな売上の落ち込みがあったが、他業者でかなりカバーができています。	乾物卸売業
	原油高及び原材料の高騰に円安等の影響もあり、収益は依然として好転していない。	各種商品卸売業 防府市
	移動制限の緩和により、コロナウイルス感染者が増加し、売上に影響がある。	各種商品卸売業 山口市
	下関市内に北九州市の同業者が多数来て、営業活動をしている。	各種商品卸売業 山口市
小売業	コロナウイルスの第7波の感染者増加に伴い客足が少なくなっている。そのような中、メーカーでは新スキンケアシリーズを発売し売上回復に取り組んでいるので、期待をしている。他メーカーの社長はアフターコロナを見据えた戦略で、高価格帯ブランドの若年層の顧客開拓を掲げているようだが、契約小売店からは厳しいのではとの声が上がっている。市場では大手インターネット販売の傘下になった化粧品ネット販売店もあり、価格破壊やネットによる売上減少などを危惧している。	化粧品小売業
	エアコンの販売が好調で売上高が増加。洗濯機、冷蔵庫も故障の場合、買い替えの顧客がほとんどである。他の商品の売上が減少しているため、前年比で105%位である。	機械器具小売業
	前年同月比約88.5%の売上。内訳ではサービス券売上・駐車料売上・ホール売上が前年比すべて減少。	各種商品小売業 周南市
	7月は下旬の売上が減速して最終▲5.4%の対前年割れであったが、8月は22日時点で対前年3割強の大幅プラスで推移している。昨年はコロナウイルスによる行動制限と悪天候で売上低迷していたが、お盆期間13日～16日の売上が大幅に増加し数字を押し上げた。	各種商品小売業 萩市

	8月は前年比で、供給高 100.7%、来店者数 99.5%。来店者数は減少しているが、下関市地域振興券の使用により、供給高は伸びている。従事者のコロナウイルス感染者が増えている。	各種商品小売業 下関市
商店街	爆発的なコロナウイルス感染拡大は継続。コロナウイルス、物価上昇、原油高など、あらゆる局面で次のフェーズへ移行する。短期的、中期的な目標を見据えて立て直さなければならない時期である。	岩国市
	宇部市では盆過ぎから感染者が増え、街の人通りがなく消費も伸びない。	宇部市
	8月は盆前と盆明けに差が出ている模様。「この暑さで市場に物が無く、葉物野菜の仕入が大変だ」と青果店は話す。売上は7月より10%増加だが、酷暑で街に人が出てこない。電気マッサージ店も人出が減少。	萩市
	お盆を過ぎたころからコロナウイルス感染者数が減少してきた影響なのか、少しずつ人通りが戻ってきている。	下関市
サービス業	新型コロナウイルス感染者の増加で売上減少傾向にある。ロシアのウクライナ侵攻等での物価高騰は、なかなか価格転嫁ができない状況にある。	理容業
	新型コロナウイルスの影響による世界的な物流の混乱により、半導体不足が一向に収まらないことから、新規新車の販売が、11ヶ月連続で対前年比減少が続いている。また、軽自動車も本年2月に若干増加に転じたものの、令和3年3月から13ヶ月の対前年比減少が続いている。売りたいくても販売できる自動車がない事態に至っており、受注を受けても納車ができない販売店は、下取り車の扱いや代車の貸出しなど余分な負担の増加で頭を抱えている。	自動車整備業
	オミクロン株大流行により入会キャンセルが多数発生。回復基調が右肩下がりになった。コロナウイルスが落ち着けば回復が見込めると思っていたが、光熱費の大幅上昇の影響が非常に大きい。	スポーツ・健康教授業
	夏はドライクリーニング品が少ない時期で業界の閑散期とされるが、今年は特に厳しいという事業所も少なくない。資材が高騰しているため、最近になってようやく値上げする事業所も増えてきているが、クリーニング消費の落ち込みを懸念して慎重な業者もある。今後さらに厳しくなると思われる。	普通洗濯業
	8月もコロナウイルスの影響で、従業員のシフトや来店者数に影響が出ている。早く落ちつくことを祈るばかりである。	飲食業
	北海道の商品販売で多少利益があった。	旅行業

	の影響が心配される。	
	新型コロナウイルス感染拡大により予約者数が伸びなかったが、前年同月は上回ることが出来た。しかしながらコロナ前の令和元年8月と比較すると、売上 82.8%、宿泊人員 67.4%であった。	旅館業 山口市
	売上高は前年比 20%の減少。コロナウイルスの感染者数が増加したことから入浴者数は 5%減少した。イベントや施設の再開はあったが売上はなかなか回復しない。	旅館業 長門市
	今年は様々なイベント等が開催され、8月の個人客の宿泊は伸びた。従業員のコロナウイルス感染者、濃厚接触者による人手不足で人員の確保が大変であった。	旅館業 下関市
建設業	中電への工事申請 134 件(当支部 116 件)、前年同月 121 件(同 100 件)。太陽光発電への申請 44 件(前年 39 件)、オール電化申請 54 件 (前年 68 件)。LED 街路灯への切り替え・新設申請 11 件(前年 4 件)であった。	電気工事業
	工事着工の遅れがあり、現場の工事量はやや増加している。コロナウイルス感染の拡大で、欠勤を強いられる技能者が増加しつつあり、工事施工への影響が懸念される。土日全休の工事現場が増えており、そのための給与が負担になっている。	左官業
	8月の官公需も順調な入札数であった模様。ただ、民需の住宅関連の発注が止まっており、資材等の不足や値上がりの影響、新型コロナウイルス第7派の影響、お盆休暇等の影響等が考えられる。依然として人手不足は解消できず、皆忙しくしている。	管工事業
	第7波の新型コロナウイルスが、爆発的に感染拡大しており、山口県の日当たりの感染者数が過去最大を何度も更新したが、この間も行動規制も無く盆を迎え、休み明けの感染拡大が危惧されている。企業内でも感染者が出ている状況において、出勤停止となる従業員が発生すると、規模の小さな事業所は業務が停滞し、工期内の工事が不能となることが懸念されるため、感染防止の徹底が必須だが、家庭においても留意する必要がある。	一般土木工事業 柳井市
	8月の受注高は、対前年同月比 126.7%。令和4年度の累計では、対前年比 82.6%。	一般土木工事業 萩市
	7月の長門地区公共事業受注高は、回復の兆しが見えるが令和4年4月から7月までの受注高は、例年の約5割と非常に少ないので、上半期早期の発注を望む。燃料費、生コンクリート、アスファルト、鋼	一般土木工事業 長門市

	材、木材等の建設資材単価が高騰しており、収益への影響が心配される。	
	図面決定の状況が思わしくなく、手待ち状態が続き工場稼働率が伸びない。材料価格の値上りに伴い、見積りに材料価格上昇分を転嫁すると多額になるため苦慮している。全体的に暇な状況で同業他社の手伝い等で工場稼働率を確保している。	鉄骨・鉄筋工事業
運輸業	輸送関係はコロナウイルスや盆休みの影響で稼働日数が減り、長距離輸送は皆無、中近距離輸送も減少。収支は1.6%の減少。燃料費関係は1.1円の値下げ。輸送量の減少に中小輸送業者は軽油引取税を考慮してほしいとの声が多い。	一般貨物自動車運送業 下松市
	自動車関連においての組合輸送取扱高は前年比30%程度の増加ではあるが、前年同月は半導体不足の真只中にあり大幅な落ち込みの月であったので、コロナ前の60%程度の取扱い状況で、コロナ前には遠く及ばない。	一般貨物自動車運送業 防府市
	輸送に関しては、製造業関係の増産が多くみられ、荷動き、保管案件ともに増えている。雇用増員の必要性があり、現時点では充足できているが、入れ替わりが激しいのが課題である。軽油価格高騰を受け、運賃その他の価格を値上げせざるを得ない状況が続いている。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比+12.1%（令和4年7月1日～令和4年8月20日分）だった。7月1日～31日分は+13.0%、8月1日～20日分は+10.4%。前々年もコロナウイルス感染の影響があったので、前々年度比では、それぞれ+5.9%、+8.3%、+1.1%になる。当組合の取扱いタクシー事業者は、周南市、光市、下松市、防府市の地域。7月分については、周南+10.1%、下松+46.3%、光+14.4%、防府市地区は+11.8%で、組合員の全域では+12.8%、地区外（員外）+13.9%、合計+13.0%（+1,432千円）だった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPは減少した。（前月737.5\$/トンが今月692.5\$/トン、前年637.5\$/トン）、フレート（輸送）コストも減少（前月11,100円/トンが今月10,000円/トン）した。為替は円安（前月134.93円/\$が137.79円/\$）。燃料単価は前月より▲3.1%下がったが前年8月比+18.8%であり依然として厳しい状況。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足している。ウィズコロナで、需要を落とさな	一般乗用旅客 自動車運送業



	<p>いよう規制は緩くなっているが、コロナウイルス感染の発生は急速に拡大している。移動自粛による需要減少に加え、乗務員や職員への感染による、供給側の停止・停滞が危惧される。</p>	
	<p>8月もほぼ同水準で推移している。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他</p>	<p>夏休みやお盆等で人の移動が増え、県内の新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず増加が続いている。福祉事業所でも感染者が増え、部外者の立入り禁止や面会謝絶、施設外サービスの利用制限等が数ヶ月前より顕著になった。ある施設でも担当者会議の開催にあたり集まって行うのは避けて欲しいとの要望がある等、感染リスクの減少・予防に努めている状況。人材の募集は行っているが、外国人技能実習生よりは一般の就労者の受け入れを求めているように感じられる。今後は感染状況を見守り、落ち着いたら人材の受け入れがあるのではないだろうか。</p>	<p>介護事業</p>